

令和元年6月13日



広報資料

問い合わせ先

第一管区海上保安本部
総務部人事課 下 修司
TEL 0134-27-0118
(内線 2130)

海上保安学校及び海上保安大学校学生採用試験の実施について

海上保安官 ～日本の海を守る～

海上保安庁では、令和2年4月期入学の海上保安学校及び海上保安大学校学生を募集します。受験申込みは、インターネットのほか、郵送でも受け付けます。なお、受験料はかかりません。

1 採用試験の日程等

		海上保安学校	海上保安大学校
受付期間	インターネット	7月16日(火)9:00～7月25日(木)受信有効	8月22日(木)9:00～9月2日(月)受信有効
	郵送又は持参	7月16日(火)～7月18日(木)(通信日付印有効)	8月22日(木)～8月26日(月)(通信日付印有効)
第1次試験日		9月22日(日) <small>※10月9日(水)合格発表</small>	10月26日(土)、27日(日) <small>※12月6日(金)合格発表</small>
試験地		札幌市・函館市・小樽市・旭川市・釧路市	
第2次試験日		10月15日(火)～10月24日(木)	12月13日(金)
試験地		小樽市	
最終合格発表		11月19日(火)	令和2年1月16日(木)
<small>※海上保安学校航空課程については第3次試験まで実施されます。(試験日：11月30日(土)～12月10日(火)最終合格発表日令和2年1月16日(木))</small>			
受験資格	① 2019(平成31)年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない者		2年を経過していない者
	② 令和2年3月までに高等学校を卒業する見込みの者 など		
採用予定数	・船舶運航システム課程	： 約220名	約 60名
	・航空課程	： 約 25名	
	・情報システム課程	： 約 60名	
	・管制課程	： 約 20名	
	・海洋科学課程	： 約 15名	
※採用予定数は変動することがあります。			
採用予定日	令和2年4月		

2 入学後について

学校及び大学校とも入学金、授業料はもちろん、全寮制なので宿舍費や光熱水料も不要です。

また、入学と同時に国家公務員としての身分が与えられ、毎月約15万円の給与及びいわゆるボーナスが年2回支給されるほか、制服の無償貸与や国土交通省共済組合員として各種福利厚生が給付が受けられます。

卒業後は、海上保安官として任官され、北海道等の地域で巡視船や航空機に乗り組み、海難救助や海上犯罪の取り締まりのほか、海洋測量などの業務に従事することになります。

3 教育の目的・期間

(1) 海上保安学校（所在地：京都府舞鶴市）

海上保安業務に必要な学術や技能を教授し、あわせて心身の錬成を図り、実践的な授業から各分野のエキスパートを育てています。

教育期間は、課程により2年（情報システム及び管制）と1年（その他課程）です。

(2) 海上保安大学校（所在地：広島県呉市）

海上保安業務に必要な高度な学術や技能を教授し、あわせて心身の錬成を図り、将来の幹部職員を育てています。

教育期間は、本科4年、専攻科6ヶ月及び研修科国際業務課程3ヶ月です。

4 問い合わせ先

海上保安庁の業務及び海上保安学校、海上保安大学校の詳細は、
海上保安庁ホームページ

(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/bosyu/>)

人事院ホームページ

(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

をご覧ください。第一管区海上保安本部総務部人事課までお問い合わせください。